

「やさしい日本語」から、つながろう。

ひとり にんげん 一人ひとりの人間として、「ともに暮らす仲間」として尊重し合おう。
その人の背景にある文化・言語・大事にしているものを、お互いに学ぼう。

がいくせきじゅうみんひりつ としぶにほんいち 外国籍住民比率が、都市部日本一の生野区から。
5人が外国籍のこのまちから。
60か国以上の国から集まるIKUNOから。

あなたの友達に、今まで関わった大事な人に、外国の人がいればわかる。
その人を知り、つながったら、国や文化の違いも、個性のひとつとわかる。

ざいにちかんこくちょうせん ひと 在日韓国・朝鮮の人たちとともに
まちの経済や暮らしを支えてきた歴史が、このまちにある。
このまちには、すでに多文化共生に向けた得難い歴史の財産がある。

たようせい そんちよう あたら 多様性の尊重は新しいエネルギーを生み出し、豊かなまちづくりにつながる。

きんじよ がっこう しょくば 近所で、学校で、職場で「いろんな国の人に出会える」まち。
世界につながる、生野区だから。
おおさかじゆう にほんじゆう 大阪中に、そして日本中に「やさしい日本語」をスタンダードにするための、
はじめのいっぽ とど 一歩を届けたい。

「やさしい日本語で、話します」
「やさしい日本語で、話してください」

「どうぞよろしく、日本へようこそ。」
「あなたの話を、聞かせてください。」

いくのぼつ せかい 生野発・世界行き。
「やさしい日本語」マークが、旅立ちます。

YASASHI NIHONGO

やさしい
にほんご

話します

YASASHI NIHONGO

やさしい
にほんご

話してください

やさしい日本語って？

「やさしい日本語」は、コミュニケーションのための道具です。

「やさしい日本語」は、日本語があまり得意ではない人に、

わかりやすい言葉や表現に言い換えた日本語です。

「やさしい日本語」に正解はありません。

相手にあわせて、やさしい気持ちで

「やさしい日本語」を使ってみませんか。

「やさしい日本語」のポイント

- 1 ゆっくり話す
- 2 短く区切って話す
- 3 簡単な言葉に言い換える
- 4 カタカナ外来語はできるだけ使わない
- 5 具体的に伝える
- 6 大阪弁を使わない

